

朝第1礼拝 9:00～10:10 朝第2礼拝 10:30～12:00 ＜神の招き＞ 前奏 ①キリストは死の縄目につき給いしが ツァッハウ ②復活の主は バッハ 招きの詞 イザヤ書25：7～9 交読詩編 136：1～9 讃美歌 1 ＜神の言葉＞ 聖書 詩編110：1～7 (旧約 聖書協会共同訳 935 頁) マルコによる福音書12：35～37 (新約 聖書協会共同訳 86 頁) 祈禱 讃美歌 50 奉唱② I-242 説教 「ダビデ王を超える方」 熊江秀一牧師 祈禱 黙想 讃美歌 358 聖餐 讃美歌 81 ＜神への応答＞ 信仰告白 日本基督教団信仰告白 献金 主の祈り 宣教報告② 頌栄 27 派遣と祝福 後奏①イエス・キリスト、我らの救い主 ヴァルター ②輝きのこの日 バッハ 宣教報告①	夕礼拝 18:00～19:10 司式 熊江秀一牧師 ＜神の招き＞ 前奏 輝かし日はあらわれぬ ヴァルター 招きの詞 イザヤ書25：7～9 交読詩編 136：1～9 讃美歌 6 ＜神の言葉＞ 聖書 マラキ書3：23～24 (旧約 聖書協会共同訳 1478 頁) ルカによる福音書1：5～25 (新約 聖書協会共同訳 98 頁) 祈禱 讃美歌 464 説教 「喜ばしい知らせ」 佐藤潤伝道師 祈禱 黙想 讃美歌 475 聖餐 讃美歌 81 ＜神への応答＞ 信仰告白 日本基督教団信仰告白 献金 主の祈り 宣教報告 頌栄 27 派遣と祝福 後奏 キリストは死の縄目につき給いしが ペツヘルベル 次週の礼拝（5月11日） ① 9：00、② 10：30 説教「神に喜ばれるのは」熊江秀一牧師 ホセア書6：4～6、マルコによる福音書12：38～44 交読詩編136：1～9 讃美歌11、51、513、27 夕 18：00 説教「神にできないことは何一つない」佐藤潤伝道師 創世記18：9～15、ルカによる福音書1：26～38 交読詩編136：1～9 讃美歌14、151、457、27
--	---

＊礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。＊は祈禱当番の方。＊①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。

◇先週の説教より「恵みと平和」エフェソの信徒への手紙1：1～2 民数記6：22～27 佐藤潤伝道師	
「恵みと平和があなたがたにあるように」。この手紙にある恵みと平和を願う祈りは、ただ幸せや利益を求めて、どこの誰だか分からない方に祈り願うものではありません。パウロは、「恵みと平和があるように」とまことの神である父なる神に向けて祈りを捧げています。 パウロは、ただ神の御心によって、神から選ばれ遣わされた使徒なのだと言います。神の御心によって、キリスト者とされている私たちは、神の救いに感謝して、神の御心を行い、主イエスに従って生きていくのです。この手紙は、エフェソにある教会が宛先となっています。パウロの後継者たちが、エフェソにある教会を励まし、主にあってしっかりと立って生きていくことを願い、この手紙にあえて「エフェソにいる」を付け加えて、書き送ったのだと思うのです。 「恵みと平和があるように」と、エフェソにいる聖なる者たちが、神の恵みに感謝して、主イエスの十字架の下に一つとなり、	お互いに折り、支え合って、平和のうちを歩んでいけるようにと、パウロは父なる神に祈りを捧げているのです。お互いに折り支え合うことは、私たちと父なる神の間に立って、今も執り成してくださっている主イエスの祭司としての役割が、私たちに与えられているということです。 「恵み」と「平和」は、ただ一方的に神から与えられる救いであり、神との良い関係において与えられる祝福です。神との正しい関係にあつて、恵みと平和による祝福を受け続けられるようにとお互いに執り成し祈るのです。主イエスの恵みによって与えられた神との平和は、信仰共同体である教会に与えられています。主イエスが、神と私たちの間に立って執り成してくださっている。大祭司主イエスに倣い、お互いに「恵みと平和があるように」と執り成し折り、支え合っていきたいのです。